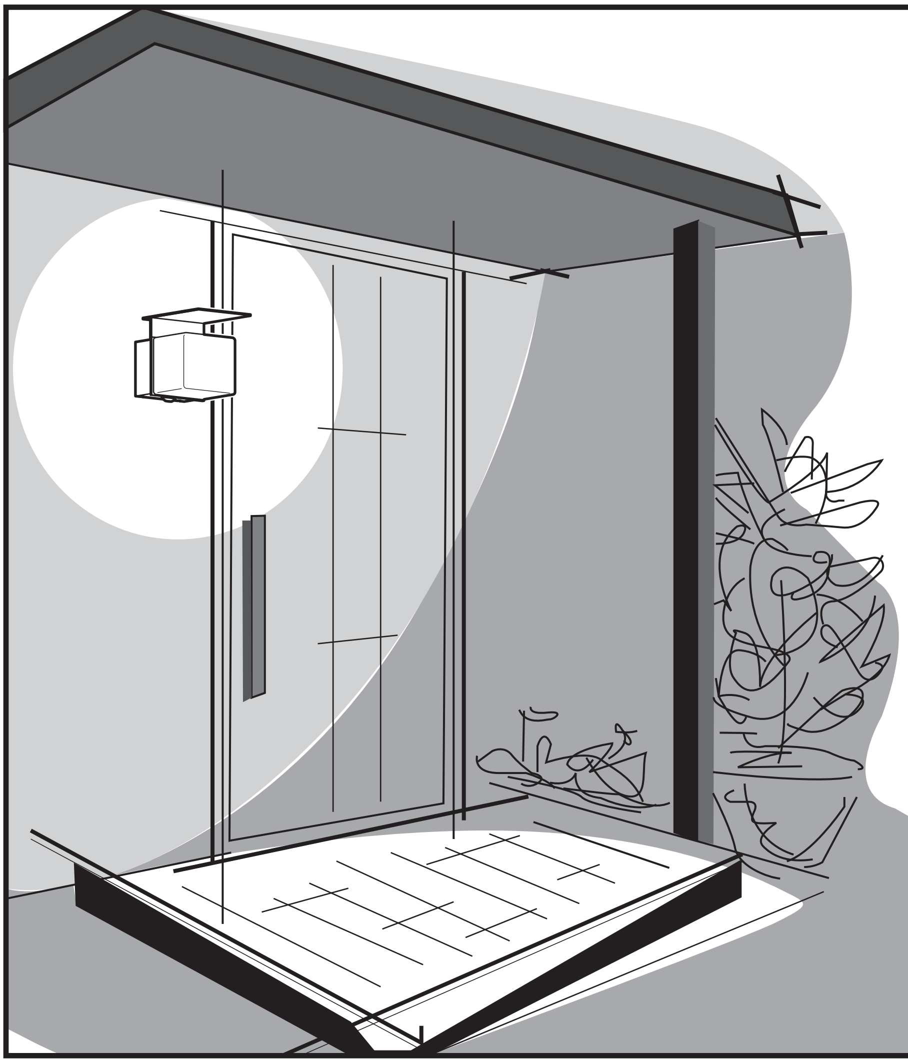
ブラケット PJ-22型 取扱説明書

保管用

取説No. HH8VLA18SC-T3A



もくじ

安全上のご注意 ･････････････････ 2

使用上のご注意 ･････････････････ 2

各部のなまえとはたらき ･･････････ 3
- ・各部のなまえ
- ・調整ツマミのはたらき
- ・センサの検知範囲

使いかた ･･････････････････････ 4
- ・センサによる点灯
- ・人がいないときも点灯したままにする

調整ツマミを設定する ････････････ 5
－お出迎えモードで使う場合

調整ツマミを設定する ････････････ 6
－ＯＮ/ＯＦＦモードで使う場合

ランプを交換する ････････････････ 7

お手入れについて ････････････････ 7

仕様 ･････････････････････････ 7

安全チェックシート ･･･････････････ 7

故障かな？と思ったら ････････････ 8

お願い ご使用の前に検知範囲、点灯保持時間などの調整が必要です。説明書を必ずお読みください。

上手に使って上手に節電

お客様へ

このたびは、ナショナル照明器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」(2ページ)は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、大切に保管し、必要なときにお読みください。

工事店様へ

この説明書は必ずお客様にお渡しください。

この紙は再生紙を使用しています。

UZ234_200802A

安全上のご注意　必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は、絵表示の一例です。）

（禁止の絵表示）	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
（強制の絵表示）	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

■異常を感じた場合、速やかに電源を切る

必ず守る　異常状態が収まったことを確認し、工事店・電器店にご相談ください。

■器具を改造したり部品交換をしない

分解禁止　火災・感電・落下によるけがのおそれがあります。

■ランプは器具表示のものを使用する

必ず守る　火災・感電・落下によるけがのおそれがあります。

■布や紙などの燃えやすいものをかぶせない

禁止　火災のおそれがあります。

注意

■照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。

必ず守る　点検せずに長期間使い続けるとまれに火災・感電・落下などに至る場合があります。
●1年に1回は「安全チェックシート」(7ページ)に基づき自主点検してください。

■本体の取り外しは工事店・電器店に依頼する

必ず守る　本体の取り外しには資格が必要です。

■ランプ交換、お手入れの際は、電源を切る

必ず守る　通電状態で行うと感電の原因となることがあります。

■点灯中や消灯直後のランプやその周辺にさわらない

接触禁止　守らないとやけどの原因となることがあります。

使用上のご注意

・低誘虫の効果は、蚊、ゴキブリなど、光に誘われない虫には効果がありません。
　また設置した器具の周囲の光環境によって誘虫効果に差が生じます。
・点灯直後約10分間は、明るさや光色が若干変化します。
・周囲温度の違いにより、明るさや光色が若干変化します。

各部のなまえとはたらき

各部のなまえ

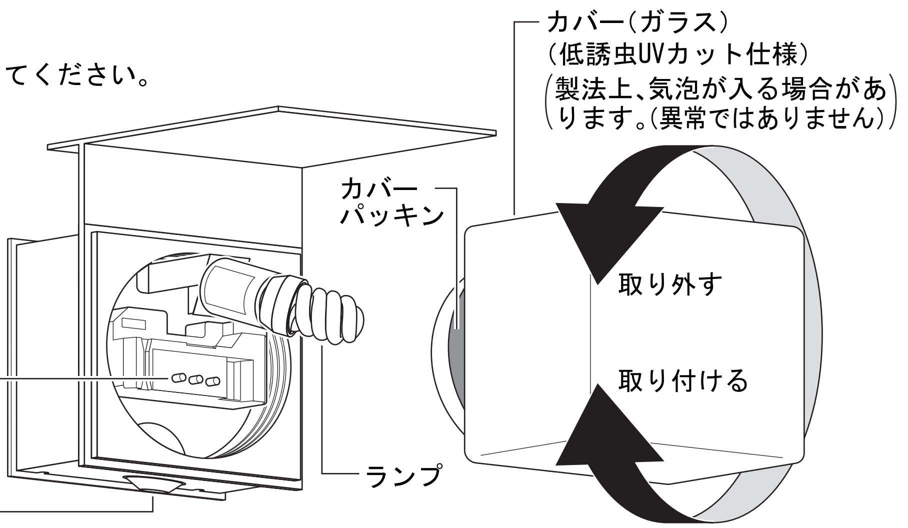
・カバーの取り外し・取り付けは、
☞ 7ページ「ランプを交換する」を参照してください。

調整ツマミ

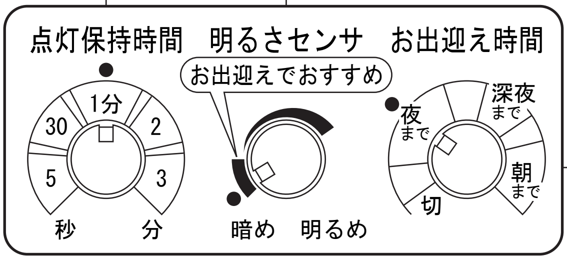
使い方に合わせて、調整してください。(☞5、6ページ)

検知部

・周囲の明るさを検知する「明るさセンサ」と、人の動きによる温度変化を検知する「人センサ」が内蔵されています。
・全方向に約20度動きます。
・連続点灯中は赤く点灯します。



調整ツマミのはたらき



●点灯保持時間ツマミ

人がいなくなった後、どれくらい点灯させておくかを調整します。
・約5秒、約30秒、約1分、約2分、約3分の5段階に調整できます。

●明るさセンサツマミ

周囲がどれくらい暗くなったら
お出迎え点灯が始まるか(お出迎えモード時)
人が近づいたときに点灯させるか(ON/OFFモード時)
}を調整します。
・右に回すほど、明るいうちから動作するようになります。
・右いっぱいに回すと、周囲の明るさに関係なく動作するようになります。

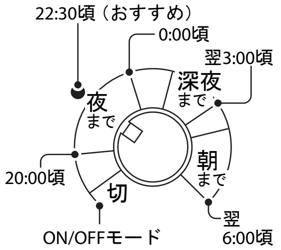
●お出迎え時間ツマミ

お出迎えモード(☞4、5ページ参照)で使用時、お出迎え点灯の終了する時刻を調整します。
・20時頃から翌朝6時頃まで調整できます。(右図参照)

ON/OFFモード(☞4、6ページ参照)で使用する場合は「切」にします。

(注)時刻は目安です。地域や天候により、設定時刻より1時間前後のずれが生じることがあります。

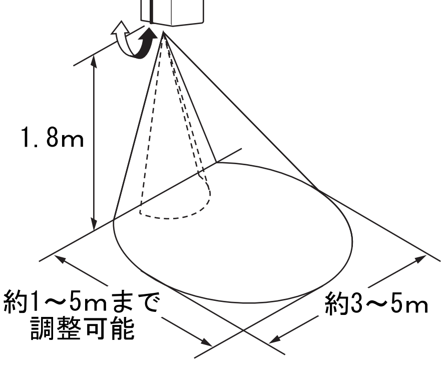
「お出迎え時間」ツマミの終了時刻の目安(注)



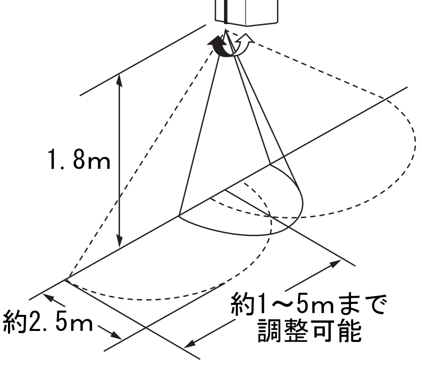
センサの検知範囲

●センサの検知部を動かして、検知範囲を調整できます。(センサの検知部は全方向に約20度動きます。)
●器具の取り付け高さ1.8m(標準)～3mの間では、検知範囲は変わりません。

検知範囲の目安
(器具取り付け高さ1.8mの場合)



前後に動かした場合



左右に動かした場合

ご注意

・この器具のセンサは、熱源の温度変化を動きとしてとらえます。そのため、動物・自動車など人以外の動きも検知して点灯する場合があります。
・検知範囲は気温、服装、移動速度、進入方向、体温、器具の取り付け高さや傾きなどにより変化します。
・センサの性能上、器具に向かってまっすぐ近づいた場合、器具の近くまで近づかないと検知しないことがありますが、器具の故障ではありません。
・静止している人は検知しません。

使いかた

センサによる点灯

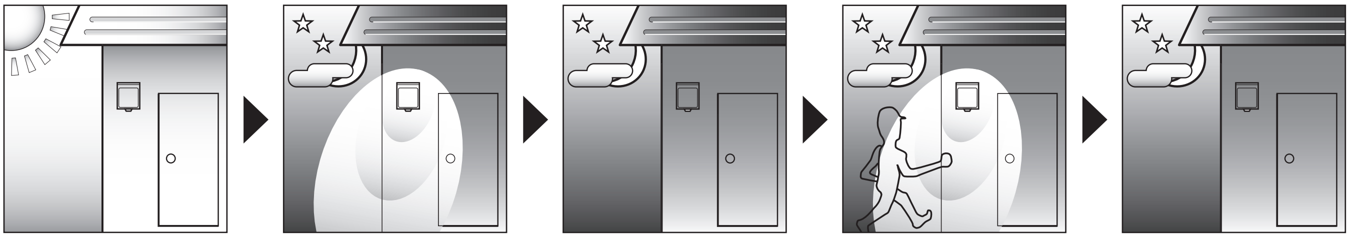
●壁スイッチは常時ONで使用してください。
　センサのはたらきにより、自動的に点灯・消灯します。

●ご使用前に、使いたい点灯動作に合わせて、器具本体に内蔵している調整ツマミを設定してください。
　センサによる点灯動作は、「お出迎えモード」「ON/OFFモード」 2種類のいずれかから選べます。

お出迎えモード の動作説明

調整ツマミの設定方法 ☞5ページ

暗くなると自動的に点灯（お出迎え点灯） ／ 人が近づくと点灯

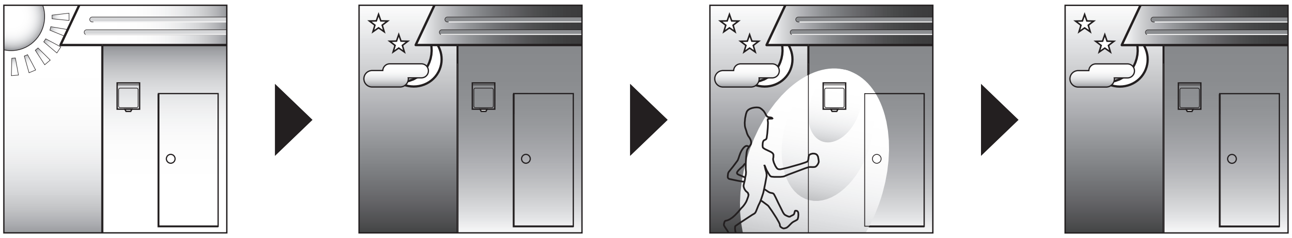


昼間、明るいときは消灯。 → 周囲が暗くなると自動的に点灯。 → 設定時刻になると、自動的に消灯。 → その後は人が近づいたときに点灯。 → 人がいなくなってしばらくすると消灯。

ON/OFFモード の動作説明

調整ツマミの設定方法 ☞6ページ

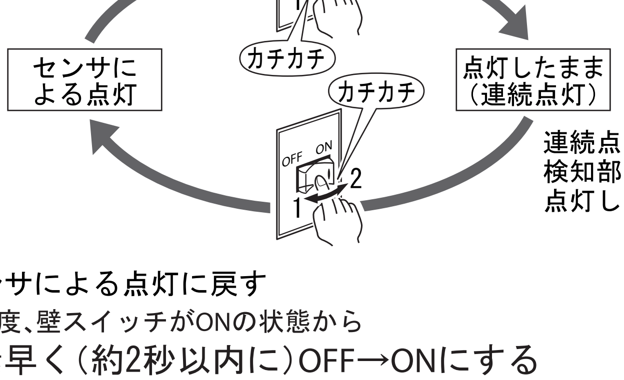
人が近づくと点灯



昼間、明るいときは消灯。 → 周囲が暗くなっても、人がいないときは消灯。 → 人が近づいたときに点灯。 → 人がいなくなってしばらくすると消灯。

人がいないときも点灯したままにする（連続点灯）

●切り替えかた
　壁スイッチがONの状態から
　素早く（約2秒以内に）OFF→ONにする



●センサによる点灯に戻す
　再度、壁スイッチがONの状態から
　素早く（約2秒以内に）OFF→ONにする

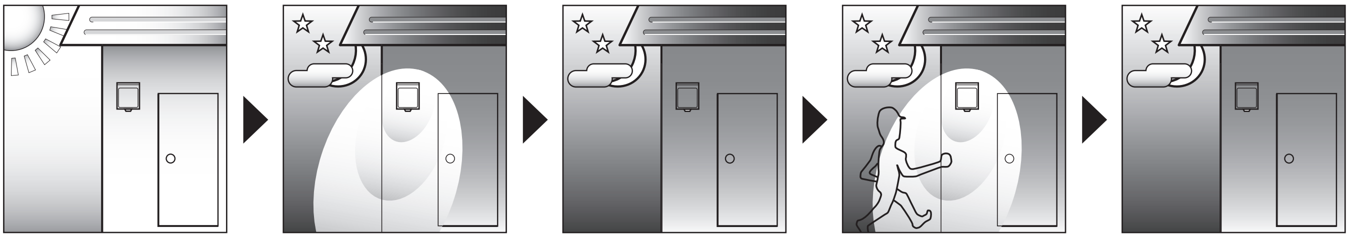
メモ

- 周囲が暗いときだけ、点灯状態を切り替えることができます。
- 連続点灯のままにしていても、朝になって周囲が明るくなると自動的に消灯します。再び暗くなるとセンサによる点灯に戻ります。
- 日中も暗い場所や天候の影響で周囲が暗い場合、朝になっても消灯しないことがありますが、最長15時間でセンサの点灯に戻ります。
- 約2秒以内の短い停電が起こった場合には、意図せず点灯状態が切り替わることがあります。

調整ツマミを設定する ―― お出迎えモードで使う場合

お出迎えモード の動作説明

暗くなると自動的に点灯(お出迎え点灯) → 人が近づくと点灯



昼間、明るいときは消灯。 ▶ 周囲が暗くなると自動的に点灯。 ▶ 設定時刻になると、自動的に消灯。 ▶ その後は人が近づいたときに点灯。 ▶ 人がいなくなってしばらくすると消灯。

調整ツマミの設定方法

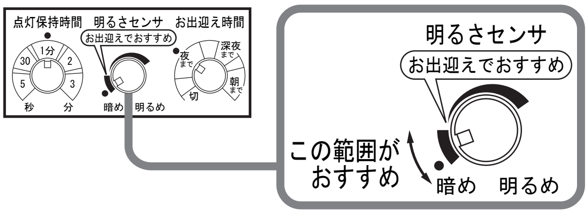
以下の手順で設定してからご使用ください。

1 壁スイッチをOFFにする

2 カバーを取り外す

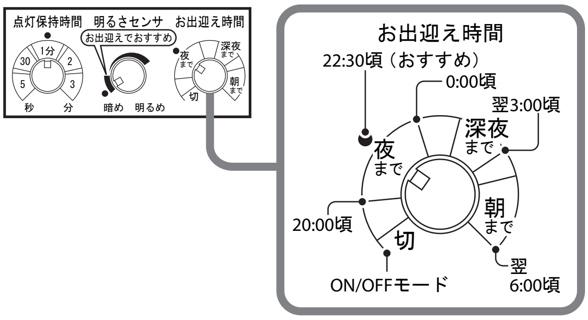
☞ 7ページ
「ランプを交換する」参照

3 「明るさセンサ」ツマミで どれくらい周囲が暗くなったら、お出迎え点灯が始まるか を設定する



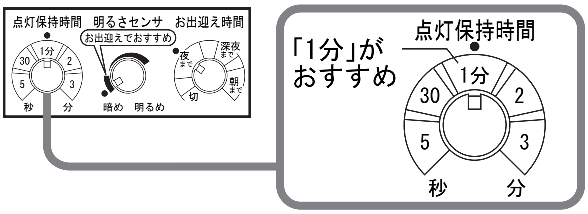
・明るめ(右方向)に回すほど、明るいうちからお出迎え点灯が始まります。

4 「お出迎え時間」ツマミで お出迎え点灯の終了時刻 を設定する



・上図の時刻は目安です。地域や天候により、設定時刻より1時間前後のずれが生じることがあります。

5 「点灯保持時間」ツマミで 人がいなくなった後、どれくらい点灯させておくか を設定する



・人通りの多い場所では点灯保持時間を長めに設定することをおすすめします。
(点灯保持時間が短いと、点滅回数が多くなり、ランプの寿命が短くなります。)

6 カバーを取り付ける

☞ 7ページ
「ランプを交換する」参照

7 壁スイッチをONにする

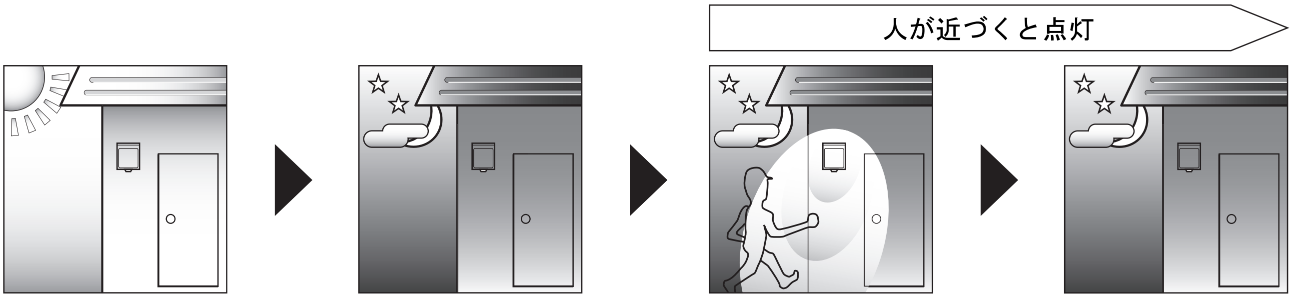
⇒壁スイッチをONにした直後は、
周囲の明るさに関係なく、約40秒間点灯します。

ご注意

・壁スイッチをONした初日は、手順4で設定した時刻に関係なく、お出迎え点灯は約4時間で終了します。翌日より設定した時刻通り終了します。
・壁スイッチは、常時ONでお使いください。
壁スイッチをOFFにすると、再びONにした初日はお出迎え点灯は約4時間で終了します。

調整ツマミを設定する

ON/OFFモード の動作説明



昼間、明るいときは消灯。

周囲が暗くなっても、人がいないときは消灯。

人が近づいたときに点灯。

人がいなくなってしばらくすると消灯。

調整ツマミの設定方法

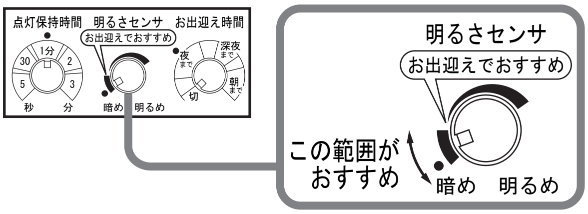
以下の手順で設定してからご使用ください。

1 壁スイッチをOFFにする

2 カバーを取り外す

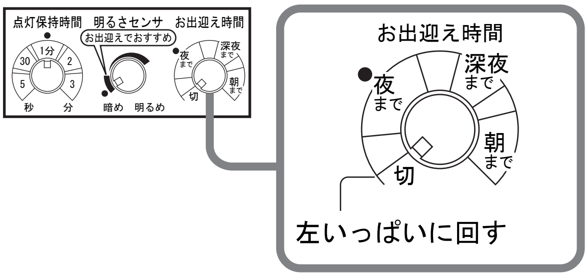
☞ 7ページ
「ランプを交換する」参照

3 「明るさセンサ」ツマミで どれくらい周囲が暗くなったら、人が近づいたとき点灯させるか を設定する

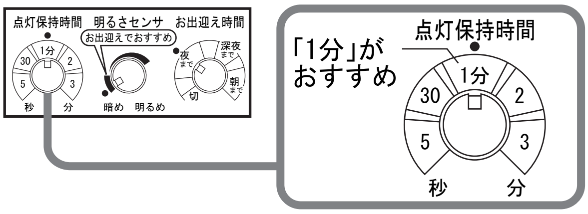


・明るめ(右方向)に回すほど、明るいうちから人が近づくと点灯するようになります。
・右いっぱいに回すと、明るさに関係なく人が近づくと点灯するようになります。

4 「お出迎え時間」ツマミを「切」に設定する



5 「点灯保持時間」ツマミで 人がいなくなった後、どれくらい点灯させておくか を設定する



・人通りの多い場所では点灯保持時間を長めに設定することをおすすめします。
(点灯保持時間が短いと、点滅回数が多くなり、ランプの寿命が短くなります。)

6 カバーを取り付ける

☞ 7ページ
「ランプを交換する」参照

7 壁スイッチをONにする

⇒壁スイッチをONにした直後は、
周囲の明るさに関係なく、約40秒間点灯します。

・壁スイッチは、常時ONでお使いください。

ランプを交換する

安全のため、電源を切ってから行ってください

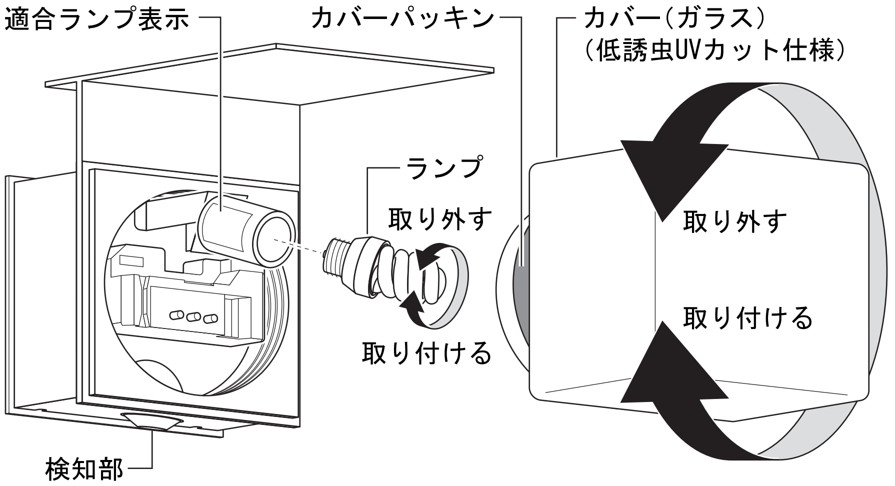
・ランプは必ず器具に表示されたナショナルランプをお求めください。白熱ランプは使用できません。
・種類が同じで光色の異なるランプとは互換性があります。

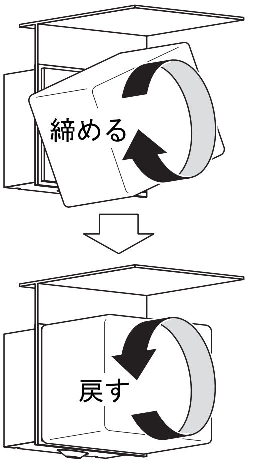
1 カバーを回して取り外す

2 ランプを交換する

3 カバーを取り付ける

・カバーにカバーパッキンが取り付いていることを確かめ、確実に締め付けてください。
・カバーを最後まで締め付けた後、本体に合わせて少し戻してください。(90度以内)





お手入れについて

電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

・明るく安全に使用していただくため、定期的(6カ月に1回程度)に清掃してください。
　汚れがひどい場合は、石けん水に浸したやわらかい布をよく絞ってふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。
・検知部(☞ 3ページ「各部のなまえとはたらき」参照)が汚れますと、センサの感度が鈍くなります。
　定期的(6カ月に1回程度)にやわらかい布で清掃してください。
・シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。
　変色・破損・劣化の原因となります。

仕様

付属ランプの品名は、ランプに表示しています。ご確認ください。

使用電圧	周 波 数	消費電力	付 属 ラ ン プ
AC100V	50/60Hz共用	10W(センサ待機時1W以下)	D15形パルックボールスパイラル蛍光灯(E26)

●〈照明器具〉安全チェックシート●

※チェック欄が足りない場合はコピーしてお使いください。

このような症状はありませんか	安全点検項目	点検結果(該当には○) /	/	/	/	/	処置手順
	1. スイッチを入れても、時々点灯しないときがある。						○印があるときは危険な状態になっていますので使用を中止し故障や事故の防止の為お取り替えをおすすめします。
	2. プラグ、コードや本体を動かすと点滅する。						
	3. プラグやコードなどが異常に熱い。						
	4. こげくさい臭いがする。						
	5. 点灯させたときに漏電ブレーカが動作することがある。						
	6. コード、ソケット、配線器具に傷みやひび割れ、変形がある。						

安全点検項目	点検結果(該当には○) /	/	/	/	/	処置手順
1. 購入後、10年以上経過している。						○印があるときはお買い上げ店にご相談ください。
2. ランプを交換しても点灯するまで時間がかかる。						
3. カバーなどに変色・変形がある。						
4. 塗装面にふくれ、ひび割れがある。または錆が出ている。						
5. 器具取付部に変形・ガタツキ・ゆるみなどがある。						
上記点検項目以外でも不具合があれば、販売店等の専門家にご相談ください。						

UZ234_200802A

故障かな？と思ったら　（下記の点検をお願いします。）

●異常があると思われる場合は下記の点検を行ってください。

症　状	考えられる原因	処　置	参照ページ
センサの検知範囲に人がいないのに点灯している（検知部が赤く点灯している）	点灯状態が連続点灯である	壁スイッチを素早くOFF→ONにすると、センサでの点灯に戻ります。（検知部が赤く点灯しているのが消えます）	4ページ
	壁スイッチを意図せず操作して、連続点灯に切り替わっている		
	短い停電により、意図せず連続点灯に切り替わっている		
センサの検知範囲に人がいないのに点灯している（検知部が赤く点滅している）	電源を投入した直後である	電源を投入した直後、約40秒間は周囲の明るさに関係なく点灯します。	―
	停電から回復した直後である		
センサの検知範囲に人がいないのに点灯している（検知部は赤く点灯していない）	検知範囲に人以外の熱源がある例）エアコンの吹き出し口、風などでよく揺れるもの、車の熱やヘッドライト、動物、雨、雷など	センサは、熱源の温度変化を動きとしてとらえます。そのため人以外の熱源でも点灯する場合があります。（故障ではありません）	3ページ
センサの検知範囲に人がいるのに点灯しない	壁スイッチがOFFになっている	壁スイッチをONにする。	―
	ランプが切れている	ランプを交換する。	7ページ
	明るさセンサツマミで設定した明るさより、周囲が明るい	明るさセンサツマミを「明るめ」方向に回して調整する。	3ページ
	人が静止している	静止している人は検知しません。	3ページ
人が近づいても検知しにくい	検知範囲が適切でない	検知範囲を調整する。	3ページ
	検知部に汚れや水滴などが附着している	検知部をやわらかい布などでふく。	7ページ
	検知しにくい条件となっている	故障ではありません。	3ページ

お出迎えモードで使用している場合

症　状	考えられる原因	処　置	参照ページ
お出迎え点灯の終了時刻が設定した時間より早い/遅い	天候により、周囲が暗くなる時刻が、通常より早かった/遅かった	センサの性能上、天候によりお出迎え時間の終了時刻がバラつきます。	3ページ
	電源を投入した初日である	電源を投入した初日は、お出迎え時間は約4時間で終了します。翌日より設定した時刻に終了します。（壁スイッチは常時ONでご使用ください）	5ページ
周囲が暗くなっても、お出迎え点灯しない	明るさセンサツマミで設定した明るさより、周囲が明るい	明るさセンサツマミを「明るめ」方向に回して調整する。	3ページ
	お出迎え時間ツマミが「切」になっている	お出迎えモードで使用する場合は、お出迎え時間ツマミを「切」以外にします。	5ページ
周囲が明るいのにお出迎え点灯する	明るさセンサツマミが「明るめ」になっている	明るさセンサツマミを「暗め」方向に回して調整する。	3ページ
	器具の設置場所が昼間でも暗い	センサの性能上、お出迎えモードでは正しく動作しません。お出迎え時間ツマミを「切」にして、ON/OFFモードでご使用ください。	6ページ
センサの検知範囲に人がいないのに点灯している（検知部は赤く点灯していない）	お出迎え点灯中である	お出迎え点灯中は、人がいなくても点灯したままです。	4ページ

●処置した後に正常に戻らない場合は、いったん電源を切り、約10秒以上経ってから再び電源を投入してみてください。

それでもなお異常がある場合は、必ず電源を切り、工事店、電器店にご相談ください。

取説コード
UZ234

200802A_1009

東洋エクステリア株式会社